

会議所3月の動き

- 1日(木)・新発田商工会議所女性会役員会
- 5日(月)・正副会頭会議
・特別検討委員会
- 6日(火)・身体障害者用トイレマップ作成会議
・小売商業部会特別委員会
- 7日(水)・日銀「金融懇談会」
・県下商工会議所事務局長研修会
- 8日(木)・観光基本計画検討委員会
- 9日(金)・消費税個別相談会
・魅力あるまちづくり講演会「第1部・地域活性化と男女共同参画」
・「第2部・『しばた』地域再生のまちづくり戦略」
- 14日(水)・常議員会
- 15日(木)・新潟職業能力開発短期大学卒業式
・日本商工会議所会員総会
- 16日(金)・エキスパートバンク事業報告懇談会
- 18日(日)・平成19年度新発田市成人式
- 19日(月)・県商工会議所連合会総会・会頭会議
- 20日(火)・平成19年度商業振興施策等に係る説明会
・観光振興基本計画検討委員会
・小売商業部会特別委員会
- 21日(水)・まちの駅よろず開所記念講演会
- 22日(木)・観光振興基本計画検討委員会
- 23日(金)・市街地循環バスお披露目会
・二の丸理事会
・商工会議所共済加入者感謝の集い
- 25日(日)・新潟県観光立国宣言未来を語るシンポジウム
- 27日(火)・新発田市ハザードマップ作成・公表検討会
・市景観協議会
・(財)新発田育英会理事会
・健康開発センター評議員会
- 28日(水)・(財)蔭谷虹児記念事業団役員会
- 29日(木)・通常議員総会
- 30日(金)・新発田市商工観光振興協議会 委員会・企画調整会議
・新発田市男女共同参画推進協議会
・(財)新発田市まちづくり振興公社評議員会

「資産管理について」

日本経済は〇七年後半に踊り場を脱し、

力強い拡大基調へ

三月十二日に発表された〇六年十月～十二月期GDP(国内総生産、一次速報)は物価変動の影響を取り除いた実績で前期比年率プラス五・五%と、一次速報の同プラス四・八%から上方修正され、三年ぶりの高成長となりました。

特に設備投資が前期比プラス三・一%と、一次速報の同プラス二・二%から大きく上方修正されました。昨年前半に大きく増加した後、七～九月期に前期比プラス一・一%と鈍化しましたが、十～十二月期に再び増勢を取り戻しています。

他方、一月の鉱工業生産指数は、電子部品・デバイス工業での在庫調整などを反映して、前月比マイナス一・七%と、四ヶ月ぶりに低下しました。

〇六年十～十二月期の高成長は前期の低成長の反動による側面が強いことに加えて、一～三月期の鉱工業生産は弱含みが見込まれることから、国内景気は依然として軽い「踊り場」局面にあると見られます。こうした背景には、輸出の減速があると考えられます。十～十二月期のGDPベースの実質輸出は前期比

プラス〇・六%と、七～九月期の同プラス二・四%から減速傾向が強まりました。一月の輸出はアジア諸国での旧正月の影響で一時的に大幅に増加したものの、米国景気の減速に合わせる形で、輸出はしばらく冴えない動きが続くと見込まれます。

設備投資は輸出の減速を受けて一時的に増勢が鈍化すると見られますが、更なる生産拡大を見越した企業の投資意欲などを背景に、再び増勢を強めると予想されます。

日本の輸出はやや遅れて七～九月期から増勢を取り戻すと見られ、輸出の回復を足がかりに日本経済は成長率を高めていくと予想されます。

雇用拡大による労働需給のひっ迫を背景に、〇七年度末にかけて賃金上昇率が高まり、個人消費も力強さを増すものと予想されます。

三月二日発表の一月全国消費者物価指数(生鮮食品を除く)は前年同月比横ばいと、〇六年十二月の同プラス〇・一%から伸び率が低下しました。景気の弱含みや原油価格下落の影響で目先は一時的にマイナスに転じる可能性が見込まれます。

※《出所》「月刊資産管理」

4月号(2007年3月19日ハウスオペニオン会議より抜粋)

野村證券 新潟支店

ファイナンシャルアドバイザー課

青柳 加代子

TEL 025(225)7755(代)